

南部中学校だより

2025.3.24 第15号 文責:角

未来に羽ばたく若者たちへ (令和7年度卒業証書授与式辞より)

南部町立南部中学校 校長 影本 純

冬の寒さを凌いで梅もつぼみを開き、白く覆う大山の雪も雫となって溪谷を流れ、うららかにして日ごとに暖かく、春の風光るこのよき日に、来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和七年度 南部町立南部中学校第七十九回卒業証書授与式が行われますこと、高段からではありますが、心よりお礼申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。今、皆さんに卒業証書を授与しました。皆さんが手にした卒業証書は、中学校三年間の学業を立派に 修了した証です。皆さんの胸には、三年間の楽しかったこと、苦しかったことなど、数々の思い出が鮮やかに よみがえってくると思います。

皆さんが入学してきたころは、新型コロナウイルスの感染も収まり、全国的に規制が緩和され、学校生活もコロナ以前のように行事などを行えるようになりました。そのような中で、皆さんは、勉強や部活動などに一生懸命に取り組み、学校生活を楽しんできました。

中でも、三年生になって五月に行った修学旅行では京都・大阪を訪れ、金閣寺や清水寺で歴史に学び、大阪ではUSJで友達と楽しく過ごし、たくさんの思い出を作ることができました。そして、夏季中学校総体やコンクールでは、これまで頑張ってきた成果を発揮し、結果以上に、充実感を得ることができたと思います。

九月に行われた体育祭では、三年生がリーダーとして工夫に工夫を重ねながら縦割りチームをまとめ、それぞれのチームが素晴らしいパフォーマンスを発揮しました。また、十一月に行われた文化祭では、さすが三年生と言えるような素晴らしい合唱を、体育館に響かせてくれました。この体育祭と文化祭の行事では、南部中学校が目指す「自律」と「共生」を、三年生が中心となって表現してくれたと思っています。最上級生としての皆さんの姿を見て、在校生がその姿勢をしっかりと引き継ぎ、これからも南部中学校を盛り立ててくれると思います。先輩として、これからも後輩たちを応援してほしいと思います。

桜が咲き、四月になればよいよ高校生です。これまでお世話になった先生や担任の先生、支えてくださった家族の方々、見守り支援して下さった地域の方々への感謝の気持ちを持ち、この南部中学校で学んだことを大切に、また新たな気持ちでスタートしてほしいと思います。

皆さんが生まれたこの二十一世紀も、その四分の一が過ぎました。皆さんがこれから暮らしていく十年後、二十年後は、どんな社会になるのでしょうか。

皆さんを待っている未来の社会は、「少子高齢化」が今以上に進んだ社会です。労働力の不足、医療・介護の需要増加、社会保障費の増大などの社会問題が、顕著に表れてくると思います。

このような課題を克服するために、今もさまざまな取り組みがなされていますが、みなさんは、社会に出て働き始めたころに、このような問題におそらく直面しているでしょう。決して楽な社会ではありません。そんな流れの中で、みなさんは社会や地域の担い手になっていくのです。だから、みなさんはもっと社会問題に関心を持ち、政治にも関心を持ち、そして、ネガティブなことをポジティブに、デメリットをメリットに変えていく柔軟な発想や、ピンチをチャンスに変える前向きな活力をもたなければいけません。

そのためには、まず正しい知識を得ること。世の中には間違った情報があふれています。正しい知識がなければ、正しい判断はできません。そして、自分の強みを生かすこと、それを社会の中で生かすこと。そのために、目的意識をもって高校、専門学校あるいは大学で学ぶことです。学ばなければ自分には何ができるのか、何になれるのかはわかりません。社会に出るまでの時間を大切に、自分を少しずつ磨き上げていってください。みなさんがこれからの社会をつくっていくのです。大切なのは、前に進み続ける勇気です。

時には壁にぶつかり、くじけるときもあると思いますが、前に進み続ける勇気を持ち、自分で歩く道を

決め、自分の力を信じて乗り越えて行ってほしいと思います。

そして、この南部町で育ち、この南部町を通して学んだことを大切に、このふるさと南部町をいろいろな形で支えて行ってほしいと思います。皆さんの努力や行動が、これからの南部町、これからの鳥取県、これからの日本を支えていくのです。皆さんのような若者が、これからの未来を創っていくのです。私たちは、皆さんの力を信じ、そして、応援しています。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日のご卒業、誠におめでとうございます。立派に巣立ちゆく晴れ姿に、さぞやお喜びのことと存じます。四月から子どもたちは新たなスタートを切ります。これからも子ども達を見守り、支えていただきたいと思います。この三年間の長きにわたり、本校の教育活動に対しまして、ご理解ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

また、コミュニティスクールの関係者、地域の皆様にも大変お世話になり、ありがとうございました。これからも引き続き、地域でのご支援をよろしくお願いいたします。

それでは、卒業生のみなさん。友達を大切に、目標をしっかりと持ち、常に向上心を持って努力を続けてください。未来に羽ばたく皆さんに、心から祝福と 激励のエールを贈り、式辞といたします。

令和7年度末で6名の職員が退職・異動されます。

影本 純 校長先生（ご退職）

・2年間という短い期間でしたが、最後の教員生活を南部中学校で過ごすことができ、大変嬉しく思っています。皆さんのこれからの活躍を応援しています。保護者や地域の方々にはいろいろとお世話になりました。心よりお礼申し上げます。

前田 泰男 先生（伯耆町立溝口中学校へ）

・9年間、南部中学校でお世話になりました。南部中学校の皆さんはとても元気で、楽しく過ごさせていただきました。また、僕のだじゃれを相手してくれて、ありがとうございました。新年度から別の学校で働くこととなりますが、皆さんのことを心の中で応援しています。しっかり頑張ってください。

北野 真也 先生（ご退職）

・「30年前に9年間、そして3月末までの7年間、合計16年間、母校に勤務させてもらえ、感謝しかありません。保護者の方、生徒の方の成長や活躍を応援しています。」

門脇 蒼 先生（米子市立福生中学校へ）

・7年間という長い間本当にお世話になりました。南部中学校ではたくさんの生徒と出会い、たくさんの思い出ができました。南部中学校に勤務できて本当に良かったと思える7年間でした。関わることできた生徒、保護者、地域のみなさん、本当にありがとうございました。

梅原 裕子 先生（ご退職）

・小学校からのお付き合いでしたね。たくさんの思い出をありがとう。これからもたくさん学んでください。

吉川 文康 先生（南部町立西伯小学校へ）

・1年間という短い期間でしたがお世話になりました。4年前にも1年間と計2回も南部中学校で働かせていただき本当にありがとうございました。

※なお、2A担任の足立一輝先生が4月から育児休暇を取得されます。

*裏面につづきます。

お知らせ

- ・始業式は4月9日（木）8時30分までに登校。この日は給食なし、部活動停止で12時下校の予定です。また、始業式の日「テノヒラ役場」を使つての欠席等の連絡はできませんのでこの日の連絡は電話でお願いいたします。4月10日（金）からは通常に使用できます。
- ・春休み中の土曜、日曜と午前8時までと午後6時以降の急な連絡は南部町教育委員会電話64-3787までお願いします。
- ・4月1日から自転車にも交通反則通告制度（いわゆる「青切符」）が適用されます。適用の対象は16歳以上ですが、「正しい自転車の乗り方」についてはSNSでも多く広報されていますので、自転車の交通ルールが変わるこの年度末年度初めのタイミングでご家庭でも1度確認をされることをお勧めします。